

# ぶらり 食べ散歩

第30回 立川 ©立川市



## 240万本のシャレーポピー 国営昭和記念公園

昭和天皇在位50年を記念して造られた総面積180haに及ぶ国営公園。四季折々の植物や野鳥を観賞でき、5月中旬からは「花の丘」一面のシャレーポピーが見ごろを迎えます。

立川市緑町3173 ☎ 042-528-1751  
●開園/9:30~17:00(季節により異なる) ●入園料/大人450円、65歳以上210円(要証明)、小中学生無料  
●休園/年末年始、1月の第4月曜日とその翌日

## 立川駅北側のアート群 ファーレ立川アート

立川駅北口徒歩3分のエリアに点在するパブリックアート。20世紀末を代表するアーティストたちが手がけた109の作品を観賞できます。



立川市曙町2丁目付近 ☎ 042-523-2111 内線4501(ファーレ立川アート管理委員会事務局)

カップスイーツ/324円(税込)~



## 駅ナカ市場 ハピマルシェ

産地直送の青果と、その加工品を販売するマルシェ(市場)です。人気は保存料不使用のスイーツ。旬の果物を贅沢に使用し、店内厨房で一つ一つ手作りしています。

立川市柴崎町3-1-1 エキュート立川2F ☎ 042-527-1251  
●営業/月~土 10:00~22:00  
日・祝 10:00~21:00 ●不定休



北改札の目の前

## STATION CAFE BASEL (ステーションカフェ・バーゼル)

1969年の創業以来、多摩地域を中心に展開する洋菓子店「BASEL」のカフェ。軽食のほか、持ち帰りのデリカテッセン、ケーキ、焼き菓子なども販売します。



立川市柴崎町 3-1-1 エキュート立川 osoto ☎ 042-527-0824 ●営業/10:00~23:00(料理 L.O.22:00、ドリンク L.O.22:30) ●無休

リア内には36か国92人の作家によるアート作品が展示されています。説明板などは無く、街灯や車止めのように風景に溶け込んでいるものもあるので、探し歩いてみてはいかがでしょうか。

街の玄関口・立川駅には、グランデュオ、ルミネ、エキュートと駅直結の商業施設がひしめき、食品店や雑貨店など多種多様な店が出店しています。

南改札を出てすぐ、甘酸っぱい香りが漂うハピマルシェは、平成23年エキュート立川内にオープン。ショーケースには、旬の青果を使った色鮮やかなスイーツやサラダが揃います。春の一押しは自社農園で栽培した苺「原宿ベリリー」。農園から直接店に届けられるので、瑞々しく摘みためたのような味わいが魅力です。

北改札向かいには全面ガラス張りのステーションカフェ・バーゼル。数量限定の「ポテ」は、大ぶり野菜と豚肉の煮込み料理で、素材の旨みが溶け出したスープはパンに付けても美味。セットで選べるケーキには、ほんのりとラム酒が香る甘さ控えめショートケーキがおすすめです。

多摩を代表する商業の街『立川』をぶらり

JR中央線や多摩モノレールなど複数の路線が通り、大型商業施設も建ち並ぶ多摩地域最大の商都・立川。明治初期までは農業が主な産業でしたが、立川駅や立川飛行場開設をきっかけに人口や商店が増え始め、終戦後は米軍基地の街として賑わいを見せました。基地が返還されると、跡地の再開発事業により百貨店や娯楽施設が次々と開業。街の発展にさらなる拍車がかかり、立川は一大商業都市へと変貌を遂げていったのです。

再開発事業の一つとして造営されたのが国営昭和記念公園です。都内屈指の広大な敷地には、サクラ、チューリップ、ポピー、ツツジなど春季だけでもさまざまな花が咲き誇ります。5月末まではフラワーフェスティバルが開催中。展覧会や体験教室、ウォークラリーなどが連日行われます。

また、昭和記念公園の東側にはホテルや映画館など11の建物からなる「街・ファーレ立川。イタリヤ語の「F A R E (創造する)」に由来して名付けられ、エ